

調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議長 千葉大作様



報告年月日	平成 28 年 9 月 21 日		
実施日 (期間)	平成28年 8月 26日～平成28年 8月 26日		
実施場所 (行先等)	TKP仙台西口ビジネスセンター (仙台市)		
事業区分 (いずれかに○)	<input checked="" type="radio"/> 研 修 調査研究 要望・陳情活動 会 議		
事業内容	(株) 地方議会総合研究所主催の議員力・議会力レベルアップ講座		
報告者	(会派名) 公明党	(代表者) 岩渕 優	
参加者	議 員 岩渕 優		議 員 小岩 寿一
	議 員	ⓐ	議 員
	議 員	ⓐ	議 員
	議 員	ⓐ	議 員
	議 員	ⓐ	議 員
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙 (1) 2. 概要・・・・・・・・別紙 (2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙 (3)		
主 要 資料名	1. 開催案内		
	2. 地方議員、地方議会改革 (佐々木信夫中央大学教授作成)		

別紙（１）

1. 目的

- (1) 議員、議会のレベルアップを図るため。
- (2) 地方議会をめぐる議会改革の時代的要求を学ぶため。

別紙（２）

2. 概要

- (1) 中央大学大学院・法学博士の佐々木信夫教授の講師により、午前は、「地方議員、地方議会改革」について、午後は、「地方議員の政策形成入門」についての講座を受講した。

*別紙資料による

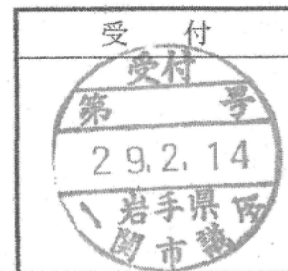
別紙（３）

3. 参考とすべき事項・所感

- (1) 地方議員、地方議会改革について
 - ①議会改革は、従来の行政改革（量的改革）から、政治改革（質的改革）へシフトすることが社会的要請であること。
 - ②議員、議会として立法・政策能力を向上させること。
 - ③「組織としての議会」について市民の信頼を高める視点からの改革が求められる時代になってきていること。
- (2) 地方議員の政策形成入門について
 - ①議会の立ち位置は、チェック機関から政策・立法機関へ変化。
 - ②議員の役割の再確認として、公共政策の決定者・執行権力の監視者・政策条例の立案者・民意の意見集約が挙げられた。
- (3) 所感として、議会・議員は、時代的要求をしっかりと受け止め、具体的改革を着実に進めて行くべきである。そのためにも、自己研鑽はもとより、議会という組織としての研鑽も同時に行って行くことが重要であると痛感した。

調査研究等事業報告書 (会派用)

一関市議会議員 千葉大作様



報告年月日	平成29年 2月14日	
実施日(期間)	平成29年 1月17日～平成29年 1月18日	
実施場所 (行先等)	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り(東京都中央区)	
事業区分 (いずれかに○)	<input checked="" type="radio"/> 研修 調査研究 要望・陳情活動 会議	
事業内容	地方議員研究会主催の公共施設マネジメント等に関する講座	
報告者	(会派名) 公明党	(代表者) 岩淵 優
参加者	議員 岩淵 優 議員 議員 議員 議員	議員 小岩 寿一 議員 議員 議員 議員
報告要旨	1. 目的・・・・・・・・別紙(1) 2. 概要・・・・・・・・別紙(2) 3. 参考とすべき事項・所感・・・別紙(3)	
主要 資料名	1. 開催案内	
	2. 2日でわかる公共施設の問題点(南学東洋大学客員教授作成)	

別紙（１）

１．目的

- （１）議員としてのレベルアップを図るため。
- （２）今後、極めて重要となる公共施設の維持管理等を学ぶため。

別紙（２）

２．概要

- （１）東洋大学客員教授の南学氏の講師により、初日は、「公共施設マネジメント」について、２日目は、「公民の役割分担の変化と連携」等についての講座を受講した。

*別紙資料による

別紙（３）

３．参考とすべき事項・所感

- （１）公共施設マネジメントについて
 - ①公共施設白書・総合管理計画作成以後の課題
 - ・実行ができない縮充
 - ・行財政改革の根幹的課題として取り組む必要
 - ・首長のリーダーシップが重要
 - ・走りながら考える
 - ・「拡充」から「縮充」へ機能ベースの施設再編成
 - ②従来型「総合計画」の限界
 - ・５年先も見通せない「温暖化、激変社会」
 - ・積み上げ型総合計画、発想の限界
 - ・いずれ実現する「拡充」型
 - ・合意形成が難しい「縮充」型
 - ・「公民連携」でなければ前に進まない
 - ③公会計改革との結合
 - ・固定資産台帳で、正確な状況把握

- ・設備の減価償却の組み込みで「老朽化」判定
- ・建物、設備情報で更新の優先順位判断
- ・事業別、施設別「財務諸表」が可能に
- ・複式簿記・発生主義会計で、脱「削減主義」
- ・「運営」から「経営」への発想転換

(2) 公民の役割分担の変化と連携について

①民間による公共施設

- ・「民間化のトレンド」をつかむ
- ・足を運びたくなる魅力をつくる
- ・行きたくなる、何かがある、人と出会える

②指定管理者制度と業務委託は別物

- ・複数年契約
- ・責任分担の問題
- ・コスト削減を目的にする間違い

(3) 配分重視の予算から、成果重視への決算へ

①予算・決算における議会の審議権

- ・「質問」という形式での実質的審議の確保
- ・公会計改革で、「決算」が重要に
- ・「フルコスト」での成果の評価で審議を
- ・予算配分に加えて、「資産活用」も課題に

(4) 所感

- ①公共施設は、財源問題として取り組むことの重要性を実感した。
- ②総合管理計画をどのように、実行に移していくかが問われる。
- ③まちづくりと地域福祉の視点も、見逃してはならない。